

今号のラインナップ：「臨時中央委員会」開催報告 / 各地で 50 周年に向けたイベントを開催 / 活動紹介
秋期ウリマル開講式、地域行事報告 / 情勢 NEWS / 今後の予定 / 編集後記

臨時中央委員会を開催！—50 周年に向けて



9月19日、私たちが在日韓国青年同盟は、愛知県・小牧勤労センターにおいて、『24期 臨時中央委員会』を開催しました。従来は3月に定期開催している中央委員会ですが、韓青結成 50 周年記念式を目前に控え、韓青全国の幹部がその意義を共有して全力で方針を展開するために、秋期幹部研修会にあわせて開催するはこびとなりました。

直前までの幹部研修会にて「韓青結成 50 周年の意義」をテーマに文世賢委員長長の講演を受け、班別討論で活発な討論を行っていたこともあり、中央委員会に参加した幹部の参加姿勢はとても積極的でした。

中央委員会では文委員長長の「今回の中央委員会を通して 50 周年事業の意義を全幹部がさらに深く共有して、各現場で主体的に実践する決意を新たにする決定的な契機にしよう」との開会あいさつを受けた後、具体的な論議を行いました。

2010 年度上半期総括では、今年度のスローガンである「韓青 50 年・若き獅子たち運動」を中間評価する場となりました。各地協で開催した 4 月革命 60

周年集会や統一マダン、宣伝活動などの 6・15 実践の活動。サマーキャンプや開講式などの組織事業。幹部セミナーや全国で開催している歴史セミナーといった学習事業など、精力的に活動した上半期の成果と今後への課題を議論し共有しました。

そして下半期の活動方針として「50 周年事業」を集中的に論議しました。まずは 50 周年事業が韓青に参加・連帯したすべての在日同胞、日本の友人の再会の場であるとともに、50 年にわたる愛国・愛族運動の正当性を大々的にアピールし、今後の 6・15 実践運動に向けたスタートであることを確認しました。

そのうえで具体的な展開内容として、宣伝・動員活動に当日進行、50 年を振り返る文化発表について提案を受け活発な質疑・討論を通して、全体の総意として 50 周年行事をはじめとした下半期方針を確定させました。その後もたれた交流会では、全参加者から今後の抱負が語られ、誰もが年末の 50 周年事業に向けて希望にあふれた青年らしい、情熱的な決意を共有しました。





勝利と希望の祭典

韓青結成50周年記念事業を大成功させよう!!!

韓青結成50周年記念事業を大成功させよう! 「60日運動」

全国各地で韓青OB・OG会を盛大に開催!!!

東京では、‘韓青結成50周年記念事業を大成功させよう! 「60日運動」’の一環として、10月30日に葛飾支部、10月31日に足立支部、11月7日に荒川支部の各支部で、OB・OG同窓会を開催しました。

各支部の同窓会では多くの先輩方が集まり、当時の活動の写真やエピソード、そして各支部の歴史を参加者全体で共有して、親睦を深めるOB・OGの集いとなりました。

現役の青年からは、「韓青が50年間たゆまず歩んできた愛国の歴史



史を再確認し、韓青結成50周年を新たな韓青の出発点と位置づけ、先輩方が邁進して築きあげてきたこの運動をさらに継承、発展させていきたい」と力強く語る姿などもみられ、「韓青結成50周年記念事業」について熱く語りあう場となりました。

最後に先輩方と現役が力をあわせて「韓青結成50周年記念事業」を必ず成功させるとともに、今後もこのような集いを大切にしていき、もっと同胞の輪を広げていこうと会は終わりました。

また、大阪では10月2日に布施支部・東大阪南支部合同のOB・OG会が開催されました。OBからの乾杯のあいさつでは、「数年ぶりにみなさんと会えてうれしい。今日は久々の人も含めて親睦と交流を深めましょう」と語られ、韓青に参加し活動をしていたときの思い出話などを中心に交流を深めあいました。

久しぶりに開かれたこのOB・OGの会では、参加者一人一人から近況報告や韓青に対する期待などが述べられた後、韓青布施支部OBである李鐵韓統連大阪本部代表委員が「昔の仲間や後輩のみなさんと交流できて楽しい一時を過ごすことができた。韓青50周年事業を盛り上げ、成功させていこう」とあいさつし、最後は記念写真を撮り、OB・OGの会は終わりました。

また、10月30日に東淀川支部、同日に西成支部・堺支部合同で、10月31日に生野北支部・生野南支部合同で、それぞれOB・OGの会が開催されました。



さらに11月7日には「韓青結成50周年を祝う韓青大阪本部OB・OGの会（祝う会）」が、フェイセスゲストハウス月花でおこなわれました。この祝う会には、韓青大阪本部、東淀川支部、生野北支部、生野南支部、布施支部、東大阪支部、西成支部、堺支部、東成支部の各OB・OGとともに韓青現役盟員も参加しました。

世話人を代表して金国一韓青大阪本部元副委員長の乾杯のあいさつで始まった祝う会は、歓談の時間をはさみながら、金昌五韓青大阪本部元委員長の司会のもと、各テーブルにマイクがまわされ、参加者それぞれから韓青現役時代の貴重なエピソードが語られました。時代を越えて韓青が、同胞青年との出会いのひろばであり、祖国・民族の学びのひろばであるとともに、民主化・統一運動の先鋒隊であり続けてきたことをあらためて実感するひとときとなりました。

最後に文世賢韓青中央委員長が12月5日におこなわれる「韓青結成50周年記念事業」への参加を訴えました。大阪本部のコ・エジャさんのリードにより「4月の若き獅子たち」を大合唱して幕を閉じました。

また広島でも9月25日に韓青広島OB会を広島市内の焼肉屋で開催し、歴代のOBが集い、楽しく旧交をあたためました。これを受けて11月21日には、「韓青結成50周年を祝う韓青広島県本部OB・OGの会」を開催する予定です。

その他、各地域においても、様々な集いを開き、多くの韓青OB・OGの先輩方が参加し、韓青50年の歴史をふりかえり、交流を通して親睦を深めました。

このように全国各地で「韓青結成50周年記念事業」の成功にむけて走りだしています。

韓青結成50周年事業を応援します！
生野南支部OB

丁 恒 臣

韓青結成50周年事業を応援します！
韓青結成50周年を祝う会

会 長 慎 忠 義

活動紹介



全国で秋期ウリマル開講式を開催

韓青では10月下旬から11月上旬にかけて「ウリマル教室・開講式」を全国一斉で開催しました。全国の開講式には多くの新規参加者が集まり、模擬授業や交流などを通してウリマルを学ぶことの意義を深め、学習の決意を高める場となりました。

開講式では半年間の授業内容のオリエンテーション、ウリマル模擬授業、クラスと講師の発表、春期の成果発表、これからの韓青の行事紹介などが行なわれ、開講式終了後にはそれぞれの教室で親睦を深める交流会が行なわれました。全国に先駆けて10月27日に開催された神奈川県本部の開講式では模擬授業を重点的に行い、形式的ではなく実践会話としての自己紹介を全体で行ないました。形式的に語学を覚えるのではなく、私たちにとっての「生きた言葉」としてウリマルを積極的に学び、日常的にも使っていこうという約束をしました。



また、開講式後の交流会では、神奈川県委員長の独断と偏見(?)で作成された『在日同胞度診断テスト』という企画が開催されました。「問一. 子どもの頃、갸갸락(スッカラ)を日本語だと思っていた」「問四. 街を歩いていて目の細い人を見ると「同胞?」と思ってしまう」などの‘在日同胞青年あるある’や「問六. 南と北は仲良くして欲しい」という問題意識を喚起する問題をうけて、参加者は交流するだけでなく問題意識を共有しあいながら大いに盛り上がりました。

また、10月31日に開講式を行なった三重県本部では、チャン・ウチク常任委員が「ウリマルを学ぶことをはじめ、この韓青とともに民族的に生きていく仲間となろう!」とあいさつをし、若いメンバーを中心にウリマル授業や交流企画をして盛り上がりました。開講式に参加した同胞青年からも「ウリマルをマスターする!」「もっと韓青行事に参加したい」などの声も多く上がっていました。

開講式後も新規受講生は継続して受け入れていますので、同胞青年はぜひお近くの韓青に参加してみてください。ウリマル授業はもちろん、歴史学習会や文化活動など、同胞同士の民族マダンの活動は、各地で毎週開催しています。どうぞ、お近くの支部にお問い合わせください。



韓国語教室

「ムグンファ」

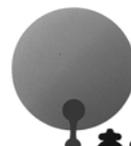


見学・体験レッスン随時受付!

担当: 金梨恵 (私・イハ)
080-6510-1973

韓国語教材専門インターネット書店

ハンゲルの森



Internet Bookstore

한글의 숲

<http://www.rakuten.co.jp/eac-hg/>



Pick up

酷暑が過ぎ去り、いよいよ秋本番。秋といえば、読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋・・・です。韓青近畿地峡でも、この間さまざまなレクリエーションを行ってきました。今回は、その一部を紹介します。

大阪本部、秋の大野遊会⇒鍋パーティー

9月の地方委員会以降、運営委員会体制で再出発を果たした大阪府本部。最初のイベントとして立ち上げたのが、「秋の大野遊会」です。大阪城公園に集まって、とにかく焼肉を食べて、アツク交流しよう！・・・と思ったのですが。

なんと、その週に台風が接近。金曜日の段階で大阪市の降水確率は「70%」・・・下手に強行すれば、雨天の中グズグズの焼肉パーティーをする羽目になる。急遽、生野北支部で「鍋パーティー」に変更することにしました。

そして当日。来るといっていたメンバーが一名来ない。あれ？都合悪くなったのかな？と思いきや・・・「あの、ボクだけなぜか変更の連絡来なかったんですけど。。。」ミアネヨ。ミスです。別に君が嫌いだからじゃないよ（笑）。ともかく、無事参加者はそろい、鍋パーティー開始。プデチゲをつつきながら、ゲーム大会、韓青結成50周年行事のプレゼンテーションなど、楽しい企画を織り交ぜながらアツク交流しました。新体制になって、初めての企画。不安なところもあったのですが・・・運営委員会のチームワークは想像以上に良く、一安心。これからも楽しくがんばっていきたいと思います。

西神戸支部主催 車一展くん、具里穂さん結婚祝賀会

11月7日（日）に、横浜で西神戸支部のチャ・イルチョン副委員長と、神奈川県本部のク・リスさんの結婚式がありました。遠方での開催でしたので、支部のメンバーは一部しか参加できず。なので、改めて11月10日（水）に西神戸支部で、ささやかながら結婚祝賀会を開催しました。

といっても、ウリマル後に鍋をつついて、ケーキを食べたくらいですが・・・ケーキにちょっとだけ仕掛けを。二人の結婚記念日の11月7日にちなんで、「117」の数字のクッキーをケーキに飾り付けてみました。

韓青を通じて出会い、神戸と横浜という遠距離恋愛を成就させ、結婚したイルチョンくんとリスさん。韓青は民族団体であり、私たちの活動は同胞青年との出会いと交流によって民族性を育んでいくことですから、韓青メンバー同士の結婚は、そういった意味では、究極の民族運動じゃないかっ、と思ったり（笑）とにかく、本当に結婚チュッカハムニダ。お幸せに～。



炭火焼肉・韓国酒家

ビヤンド

<http://www.biyangdo.com> ～飛揚鳥～

〒108-0014 港区芝 5-22-6 TEL 03-3453-2383

☆ご宴会・ご会合に2・3Fのお座敷をご利用ください
(各階40名様まで)

焼肉 晩 翠

ばんすい

〒108-0014 東京都港区芝 5-23-10
TEL & FAX 3452-0061



情勢 NEWS

＜実現した離散家族の再会

～対話の兆しを見せる南北関係＞

この間朝鮮半島をめぐるのは南北が、そして関連国が活発に動き、対話と対立を行き交う様相を呈していました。

8月末から9月上旬にかけて中国の武大偉・朝鮮半島問題特別代表が韓・日・米・ロを歴訪し、6者協議再開に向けた努力を要請しました。それを受けるかのように米国のボズワース特使が韓・日・中の東アジアを歴訪、9月13日にはソウルで記者会見し「私たちは両者および多者間接触過程をへて、6者協議再開につながることを期待する」と発言し、この発言の真意をめぐる様々な分析が飛び交いました。しかし10月7日に韓国を訪問したキャンベル国務省次官補が、朝米対話については南北関係の進展が先行することが大事だと述べ、対北政策について韓米関係重視の姿勢を保ち、独自の政策を持てずにいます。

こうしたなか、南北関係は根本的な対立関係は継続しながらも、北朝鮮の対話攻勢と和解を求める国内外の声もあって、対話の兆しを見せています。

韓国では9月13日に内外から多くの問題点が提起されるなか、天安艦軍民合同調査団によって「沈没は北朝鮮の魚雷によるもの」と断定した調査内容が発表され、27日には韓米両軍が西海で合同軍事演習を行うなど、韓米が連携して対北強硬路線を鮮明にしました。日本もこれに歩調をあわせて、「天安艦事件」にともなう対北制裁の一環として、10月に釜山沖で行われた大量破壊兵器拡散防止構想（PSI）の訓練に、韓米とともに海上自衛隊を参加させています。

一方で南北対話が多様なチャンネルを通して始まりました。9月、10月には南北軍当局の実務協議と、離散家族と人道支援を議論する赤十字実務協議が数回にわたって行われ、離散家族の再開事業が決定しました。またこの頃には「天安艦事件」以降、半分



リ・チョンリョル氏（左）とイ・スンジャ氏

以下に縮小された開城工業団地の南側人員が90%水準に回復され、南北間の航空管制通信用直通電話も再開されました。

このような南北関係を背景に10月30日から11月5日、金剛山にて昨年9月以来13ヶ月ぶりの離散家族再開事業が行われました。

各テーブルで感動の再開が続くなか、韓国側の弟のイ・チョンシク氏、妹のイ・スンジャ氏、息子のイ・ミングァン氏は、兄であり父親である北朝鮮のリ・チョンリョル氏（90）と再会しました。別れ際にはただただ涙が流れました。弟のチョンシク氏は「兄が私の名前を呼んでくれただけで、わだかまりが解けた」と話し、息子のミングァン氏は父親の北朝鮮側の息子であり、異母兄弟となるリ・ミョングク氏の手を握り、「アボジを頼む。本当によろしく頼む。アボジの故郷である慶尚北道にアボジと一緒に必ず来てくれ」と惜別の言葉を伝えました。

朝鮮半島の歴史的背景を見ると、朝鮮半島のみならず東アジアの平和と安定の鍵は、まさに南北関係の改善にあるといわざるを得ません。李明博政権は6・15南北共同宣言にのっとり、大々的な人道支援や金剛山観光再開など、目に見える形で南北の和解と協力時代を推進しなければならないでしょう。

25次中央大会を開催します！

来たる12月5日（日）、韓青は結成50周年記念式・祝賀宴を開催しますが、その日の午前中に韓青は中央大会を開催いたします。

2004年の12月に出帆した24期執行部は、組織の実質的な名誉回復に基づく自由往来時代、6・15民族共同委員会の発足による6・15時代を推進することが求められるなかで出帆しました。

何よりも24期執行部は6・15共同宣言が大きな転換点を迎えるなかで結成された6・15民族共同委員会の先鋒隊として、その先駆的闘争精神をいかに発揮し、民族の和解と協力情勢を大きく前進させることに貢献しました。南北で開催される統一大会に代表団を派遣し、南・北・海外による三者連帯を強化し、海外における青年学生の統一運動機構を創造しました。



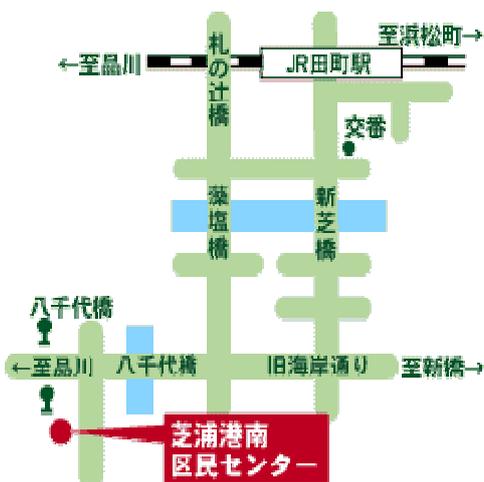
また韓国青年団体協議会（国内韓青）をはじめとした国内進歩人士との紐帯を強固にしたことは、6・15時代にふさわしい意義ある成果でありました。これらは韓青が半世紀に渡り愛族愛国運動をたゆむことなく展開したことで、6・15情勢を背景に国内外の愛国愛族団体・人士と正しい出会いを実現したことによるものでした。

韓青結成50周年行事を迎える意義深い日に25次中央大会を開催することで、50年間の成果に依拠し、教訓に学び、より一層の愛国的自負心をもって祖国の自主的平和統一達成のために、更なる闘争への決意を燃やす覚悟です。

特に、6・15宣言の履行をめぐる熾烈な攻防が展開されている情勢の中で迎える2012年の総選挙（4月）と大統領選挙（12月）を「一大政治決戦」と位置づけ、自主民主統一を志向する進歩勢力を大躍進させるために、具体的な闘争方針のもと、次期執行部が出帆することになります。

ご案内が、急になって申し訳ございませんが、ぜひ、ご参加してくださいませようよろしくお願い申し上げます。

在日韓国青年同盟 25次中央大会 開催概要



日時：2010年12月5日（日）午前9時30分開始

場所：芝浦港南区民センター

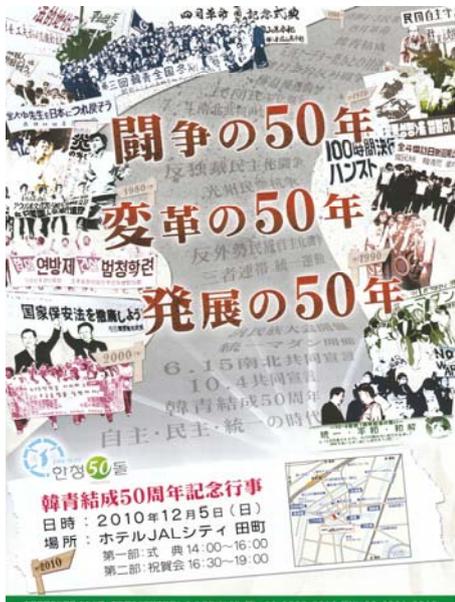
住所：東京都港区芝浦4-13-1トリニティー芝浦内

電話：03-3769-8864

最寄り駅：JR「田町駅」 徒歩6分

都営三田線「三田駅」 徒歩7分

韓青結成50周年記念行事せまる!!!



闘争

変革



4月革命から
6・15統一新時代へ



発展

12月5日(日) 勝利と希望の祭典—韓青結成50周年記念行事が盛大に開催されます。

韓青の歴史、韓青の現在、そして韓青の未来をともしする祝祭として成功させ、韓青運動をいっそう発展させる一大契機にしていきたいと思います。是非ご参席して下さるよう心よりお願い申し上げます。また、結成50周年行事への賛同募金も、継続して受け付けています。ご協力お願い申し上げます。

概要：2010年12月5日(日) ホテルJALシティ田町 (鸞鳳の間 B1F)

第一部・式典 14:00~16:00 第二部・祝賀会 16:30~19:00

■ お問い合わせ：TEL 03-5823-0815 FAX: 03-3851-0815

■ 郵便振替口座：00160-6-351003 (在日韓国青年同盟)

編・集・後・記



今年もあとわずかとなり、寒さも厳しくなってきました。この2010年では様々な運動を大々的に展開したことによって、あっという間に日が過ぎ去っていきました。本当に驚くほどのスピードで...あと1ヶ月、韓青結成50周年記念行事にむけて全力で向っていきたいと思います。最後に今年はこの号で最後になります。御一読ありがとうございました(徐)